

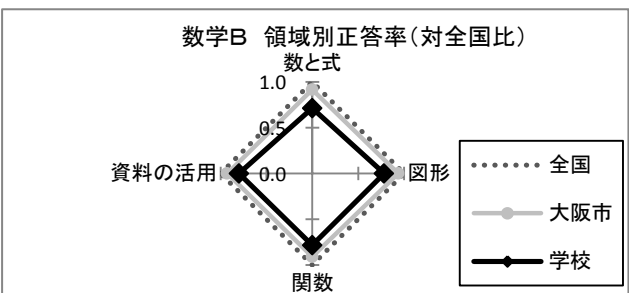
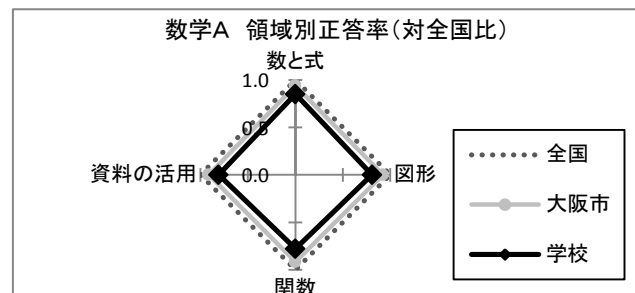
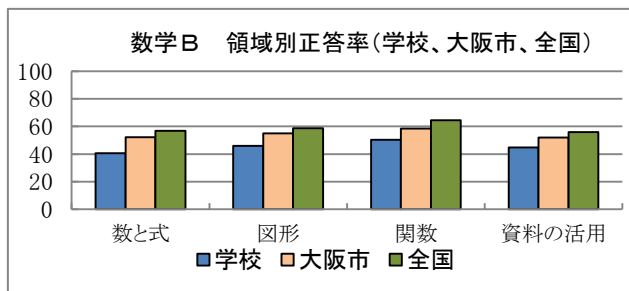
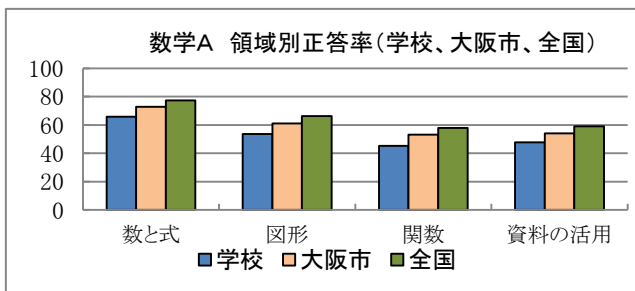
【数学】

結果の概要

「数学が好き」な生徒と「数学の授業の内容はよく分かる」生徒の割合は全国平均を上回り、「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」生徒と「数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている」生徒の割合は全国平均と変わらない。しかし正答率は、A問題・B問題ともに全領域において全国・大阪市を下回った。

A 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	12	65.9	72.8	77.4
	図形	12	53.7	61.2	66.4
	関数	8	45.2	53.2	58.0
	資料の活用	4	47.8	54.0	59.1

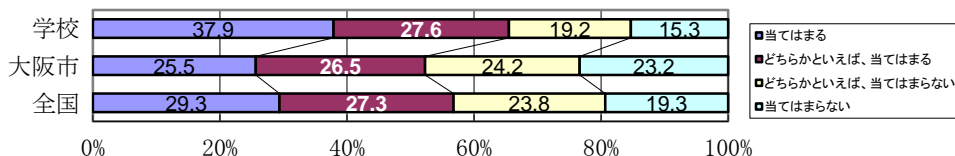
B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	3	40.6	52.1	56.9
	図形	5	45.9	55.0	58.6
	関数	5	50.4	58.5	64.4
	資料の活用	2	44.8	51.9	55.9



数学に関する「生徒質問紙」

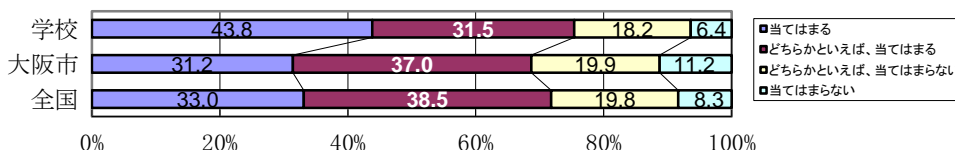
62

数学の勉強は好きですか



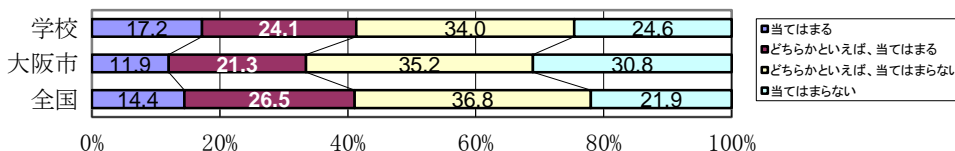
64

数学の授業の内容はよく分かりますか



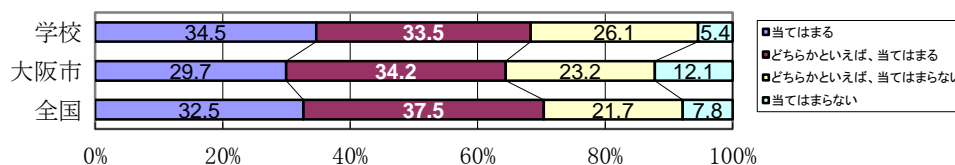
67

数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



70

数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか



成果と課題

A問題では、数量を式に表わす設問での差が特に大きく、図形の証明にかかる条件の理解や式の値を求めたり、分数を含む方程式を解いたりする設問での差が大きい。B問題では、与えられた説明の筋道を読み取り、式を適切に変形することで、その説明を完成する設問での差が特に大きく、図形の性質を証明する設問やグラフを解釈する設問での差が大きい。

今後の取組

「学習教材データ配信」等を活用し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ります。また、学習内容の定着をめざし家庭学習用教材の活用を図ります。